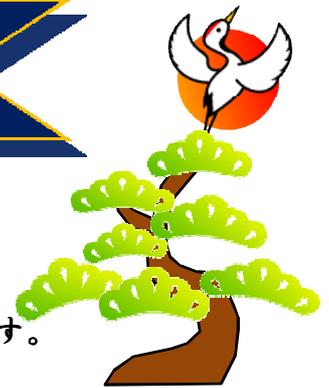




MBニュース



恭賀新年

謹んで、新春のお慶びを申し上げます！

平素の御厚情を深謝し、皆様のご健康とご繁栄をお祈り申し上げます。

本年も、変わらぬお引き立ての程、よろしくお願い申し上げます。

丸松物産株式会社

【2014年度産メンマ原料(中国産)について】

(産地状況)

昨年(2013年)の8月は猛暑、中下旬は雨が続くという天候不順に見舞われ、メンマの原料である「麻笥」が大幅な減産となったことは既報の通りです。翌月の9月以降も「麻笥」の収穫量に大きな変化はなく、「メンマ」においても2013年度産同様高値で取引が開始されました。

そのため、弊社と致しましては、取引相場を静観しながら少量ずつ買い入れをして参りましたが、生産農家及び中間流通業者(ブローカー)の売り惜しみもあり、メンマの取引価格は値上がり続け、取引の最盛期の11月末を過ぎても高値推移が変わらない状況です。

この状況からして「投機的市場」と考えられ、現段階では、新物メンマの生産量が昨年よりも10～15%減になるものと予想され、更に人件費の継続的上昇も重なり、**メンマ原料価格は今年も昨年以上に高騰しております。**

(今後の動向)

昨年10月末の日銀による追加金融緩和政策の影響を受け、急激な円安が進み、また第3次安倍内閣発足後の現在(1月5日時点)において120円/\$前後で推移しております。

弊社では継続的にローコストの製造体制の構築に向け工場の合理化を進めておりますが、この急変化は企業努力の限界を超えており、このままの状況が続いた場合、メンマ製品の更なる値上げをお願いせざるを得ない状況であります。

弊社と致しましては、引き続き現地との情報共有に努め、価格交渉並びに安定した品質の原料を仕入れるようその強化を行って参る所存ですが、極めて厳しい状況でありますこと、何卒ご理解賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

【円安の経緯】

2012年9月、当時の為替は1ドル=77円台前半を記録して円高水準となっていたが、11月中旬、野田首相が衆議院解散を表明した頃から徐々に円安に転じ、更に12月28日には、自民党の経済刺激策を期待して、1ドル=85円前後となった。

2013年、政権交代を果たした安倍内閣がアベノミクスを掲げデフレーション克服、インフレターゲットを設定し、大胆な金融緩和措置を講ずるという金融政策を表明した事によって円は徐々に下落していき、1月17日には、1ドル=90円台、5月には1ドル=100円台を記録した。

2014年9月、1ドル=109円が10月1日、東京外国為替市場で円安ドル高が進行し、1ドル=110円台を記録。更に12月4日には、ニューヨーク外国為替市場で円安ドル高が進行し、1ドル=120円台という2007年8月以来の円安ドルの高水準を記録している。

参考資料: ウィキペディア(円相場の歴史)

2012年10月～2014年12月のUSドル/円
の為替レートの推移(月間平均レート)

